【資料 2-1】

令和３年度東京湾再生官民連携フォーラムの主な活動状況について

（１）東京湾再生官民連携フォーラムの概要

１）登録会員数

フォーラム登録会員数（R3.12/30 時点）
個人会員 329 名（R4d 目標 500 名）、
団体会員 133 団体（R4d 目標 150 組織）

２）プロジェクトチームの設立

プロジェクトチーム：１０チーム
（令和 3 年度(令和 4 年 2 月)「多摩川河口干潟ワイズユース PT」が追加）

（２）令和３年度の主な活動状況

１）東京湾大感謝祭（2021）の開催状況

令和 3 年 10 月 16 日（土）に「オンライン東京湾大感謝祭 2021」が開催された。

今年度の開催は、昨年に続き新型コロナウィルス感染対策の対応が求められる大変厳しい状況の中、関係者の創意工夫により東京湾の再生に向けた活動の一環となる「オンライン東京湾大感謝祭 2021」が開催された。

当日は、特別企画トークショー「WONDER ACTION CAFÉ 」が YouTube にてライブ配信され、東京湾再生アンバサダーの桝太一さんを交えての、湾ダートーク、連携企画の「東京湾川柳・PHOTO 賞」表彰式、東京湾海の環境再生賞の表彰式も執り行われた。

２）生物生息場づくり PT の活動

東京湾北部沿岸域にて進められている、マコガレイの生息場・産卵場のため港湾工事で発生した土砂を有効活用して実施した、試験施工箇所において、令和 3 年 12 月 28 日（火）産卵調査を実施した。

調査によって採取された採取物の中から、マコガレイの卵と思われる半透明の球体が確認され、解析の結果、調査個所 4 カ所全てにおいてマコガレイの卵が令和 4 年 1 月 31 日に確認された。また、茜浜（習志野市）のブロック前面が生き物場生息つくりに期待される活動報告が共有された。

マコガレイ卵採集用ネット

簡易グラブ採泥器

底生動物試料採取

調査メンバーの集合写真

2021 年 12 月 28 日マコガレイ産卵場調査の様子

（出典：東京湾再生官民連携フォーラム企画運営員会資料より）

３）ＣＳＲ－ＮＰＯ未来交流会

NPO、企業、組織団体それぞれの立場、単体だけでは解決できない課題や不足する部分について情報共有を図り、課題解決に向けて意見が交換できる機会として CSR-NPO 未来交流会をフォーラム主催で昨年度に続き、開催予定。

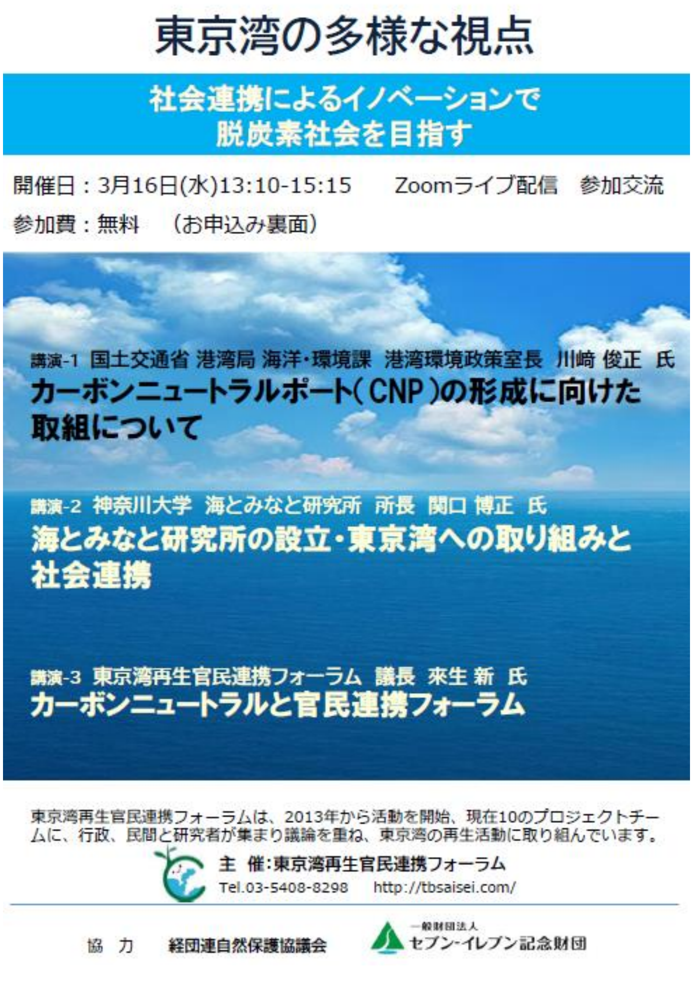
今年度の開催は、「東京湾の多様な視点　社会連携によるイノベーションで脱炭素社会を目指す」を講演テーマとし、各分野から３つの議題によって令和４年３月 16 日（水）講演を開催予定。

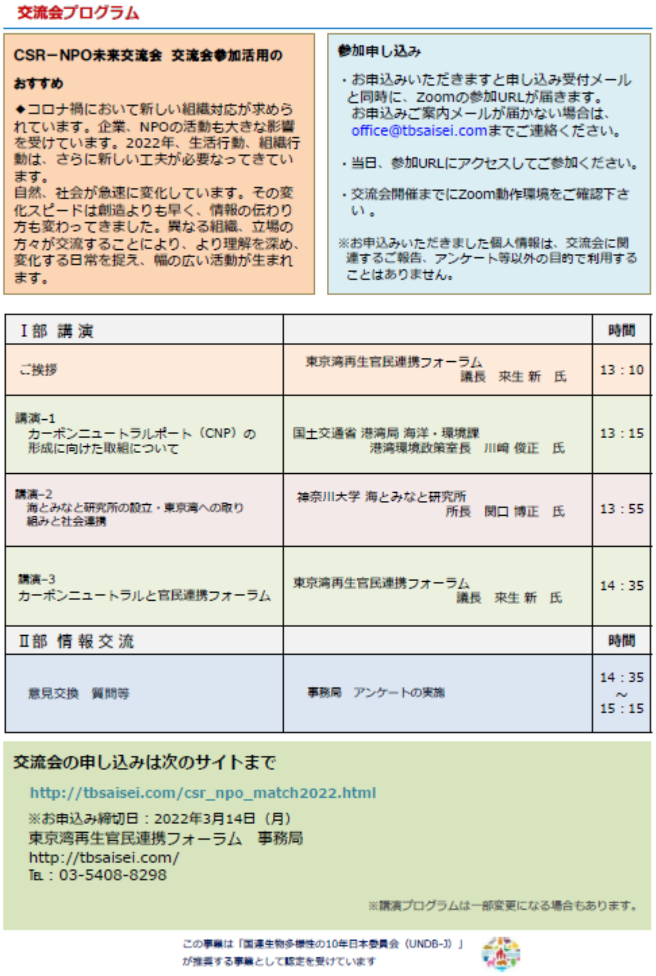
■講演テーマ

講演１：カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けた取組について
（国土交通省港湾局海洋・環境課港湾環境政策室）

講演２：海とみなと研究所の設立・東京湾への取り組みと社会連携
（神奈川大学うみとみなと研究所）

講演３：カーボンニュートラルと官民連携フォーラム
（東京湾再生官民連携フォーラム）




交流会プログラム

CSR－NPO未来交流会　交流会参加活用のおすすめ

◆コロナ禍において新しい組織対応が求められています。企業、NPOの活動も大きな影響を受けています。2022年、生活行動、組織行動は、さらに新しい工夫が必要なってきています。
自然、社会が急速に変化しています。その変化スピードは創造よりも早く、情報の伝わり方も変わってきました。異なる組織、立場の方々が交流することにより、より理解を深め、変化する日常を捉え、幅の広い活動が生まれます。

参加申し込み

・お申込みいただきますと申し込み受付メールと同時に、Zoomの参加URLが届きます。
お申込みご案内メールが届かない場合は、office@tbsaisei.comまでご連絡ください。

・当日、参加URLにアクセスしてご参加ください。

・交流会開催までにZoom動作環境をご確認下さい。

※お申込みいただきました個人情報は、交流会に関連するご報告、アンケート等以外の目的で利用することはありません。

Ⅰ部 講 演		時間
ご挨拶	東京湾再生官民連携フォーラム 議長　来生 新　氏	13：10
講演–1 カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けた取組について	国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室長　川崎 俊正　氏	13：15
講演–2 海とみなと研究所の設立・東京湾への取り組みと社会連携	神奈川大学 海とみなと研究所 所長　関口 博正　氏	13：55
講演–3 カーボンニュートラルと官民連携フォーラム	東京湾再生官民連携フォーラム 議長　来生 新　氏	14：35
Ⅱ部 情 報 交 流		**時間**
意見交換　質問等	事務局　アンケートの実施	14：35 ～ 15：15

交流会の申し込みは次のサイトまで

http://tbsaisei.com/csr_npo_match2022.html

※お申込み締切日：2022年3月14日（月）
東京湾再生官民連携フォーラム　事務局
http://tbsaisei.com/
TEL：03-5408-8298

※講演プログラムは一部変更になる場合もあります。

この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する事業として認定を受けています

東京湾UMIプロジェクト

東京湾UMIプロジェクト
～東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト～

～東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト～
（通称：UMIプロ）

東京湾再生推進会議　第二期行動計画において海域環境改善に向けた取組として掲げている「NPOや企業、漁業者等による藻場等の造成を推進する」に基づき、東京湾の港湾区域において多様な主体と連携・協働してアマモ場再生に取り組み、人々の海への理解や関心を高める活動。
（主に横浜市金沢区の港湾区域にて活動）

活動の流れ

- 国土交通省 港湾局（再生推進会議）
- 国土交通省 関東地方整備局
- 横浜市（後援）

通知 →
← 報告
募集 →
← 応募
水域開放 →

- NPO・市民団体・漁協・学校
- UMIプロ参加団体・企業

現時点での参加団体・企業

- 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- 東洋建設株式会社
- マルハニチロ株式会社
- 東京ガス株式会社

東京湾UMIプロジェクト（アマモの花枝採取）

国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

資料2-1

日　　時　令和3年5月29日（土） 9:30～11:30
　　　　　令和3年6月12日（土） 9:30～11:30
　　　　　令和3年6月13日（日） 9:30～11:30
場　　所　千葉県木更津市金田漁港（盤洲干潟）
主　　催　UMIプロジェクト（マルハニチロ（株））
　　　　　UMIプロジェクト（セブンイレブン記念財団）
　　　　　UMIプロジェクト（東京ガス(株)）
　　　　　海辺つくり研究会
参加人数　約30名
実施内容　アマモの花枝（種子）採取

木村尚さんによるアマモの特性の解説

盤洲干潟

アマモの花枝（赤枠内）

花枝の採取状況

東京湾UMIプロジェクト（アマモの種子選別）

資料2-1

日　　時	令和3年7月24日（土）10:00～12:00
場　　所	横浜市漁業協同組合柴支所（横浜市金沢区）
主　　催	金沢八景－東京湾アマモ場再生会議　約15名
実施内容	アマモの花枝採取で取った種を選別する

参加者による種子の選別作業の様子

選別する前の種子は袋詰めされ、2ヶ月ほど海中に置かれます

ざるでふるいにかけて、軽い種などを除去する

選別した種子の状況

東京湾UMIプロジェクト（アマモの苗床つくり）

資料2-1

日　　時	令和3年11月13日（土）10:00～12:00
場　　所	横浜市漁業協同組合柴支所（横浜市金沢区）
主　　催	金沢八景－東京湾アマモ場再生会議 UMIプロジェクト（東洋建設）、海辺つくり研究会
参　　加	横浜市立金沢小学校ほか
協　　力	横浜市漁業協同組合
参加人数	約40名
実施内容	アマモの苗床つくり ※今年の7月に選別した良質の種をプランターを使用して種まきを行い、苗床を作成

アマモの種

水槽内に設置して管理します

参加者による記念撮影

苗床の製作

東京湾UMIプロジェクト（アマモの播種）

資料2-1

日　　時	令和3年11月27日（土）14:00～15:00
場　　所	臨港パーク公園（横浜市西区）
主　　催	国土交通省関東地方整備局　UMIプロジェクト（東京ガス（株、マルハニチロ（株））
共　　催	海辺つくり研究会、ハマの海を想う会他
参加人数	約20名
実施内容	アマモの播種

播種前の事前説明

紙粘土に埋め込まれたアマモの種子

ダイバーにより潮入の池の水路に埋められました

播種を行った臨港パークにて記念撮影

アマモメッセンジャー

≪概要≫

■開催日時　令和３年１２月２２日（水）

■開催場所　国土交通省関東地方整備局港湾空港部（横浜第二合同庁舎１４階）

■参 加 者　金沢小学校児童　横浜市立金沢小学校、金沢八景－東京湾アマモ場再生会議、東京湾の環境を良くするために行動する会、ＮＰＯ法人海辺つくり研究会、国土交通省(関東地方整備局）マルハニチロ（株）東京海洋大学　竹内夏紀さん

〇横浜市立金沢小学校は海に親しむ活動を通じて東京湾再生への取り組みを推進しており、その一環として１年間の活動の発表と採集したアマモの種子を当局職員へ直接手渡す活動を毎年クリスマスの時期に行っている（今回で１５回目）。

〇当日は生徒達の発表とあわせてアマモの種子を生徒達から当局職員に手渡しするリレー、ＮＰＯ海辺つくり研究会による活動報告やを通じて生徒達との交流を深めました。

〇アマモの種は、金沢区海の公園付近の柴漁港で育苗し、東京湾ＵＭＩプロジェクト活動時に移植されます。

＜アマモの種の贈呈＞

＜参加者集合写真＞

Merry
Christmas